

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年6月7日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部/国際日本学科(学部/学科/研究科/専攻等)
留学(渡航)した時の学年	3~4年生
帰国年月日	2023年6月3日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	セントラルオクラホマ大学(日本語名) University of Central Oklahoma(現地言語名)
現地使用言語/授業使用言語	英語/英語
留学期間	2022年8月~2023年6月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):マスコミュニケーション (現地言語での名称):Mass Communication  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1学期/4月上旬~7月下旬、 2学期/9月中旬~2月上旬	1学期:8月下旬~12月中旬      2学期:1月中旬~5月中旬 3学期: ~                              4学期: ~
学生数	About 28000人
創立年	1890年

## 留学費用

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	9500	1328500 円	明治大学への学費分
宿舍費	7788	およそ 1100000 円	
食費	7000	1000000 円	うちの 4650ドルは大学のミールプラン
図書費		0円	
学用品費	600	8400 円	
携帯・インターネット費		70000 円	
現地交通費		0 円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		250000 円	4 回旅行へ
被服費		100000 円	
医療費		0 円	
保険費		107000 円	形態:
渡航旅費		468880 円	
ビザ申請費	160	24000 円	
雑費		30000 円	
その他		円	
その他		円	
合計		4486780 円	

## 渡航関連

渡航経路
往路 出発地:羽田 目的地:オクラホマシティー 経由地:ダラス(テキサス州)
復路 出発地:オクラホマシティー 目的地:成田 経由地:ヒューストン(テキサス州)
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:JAR, American Airlines 料金:316400 円 復路 航空会社:United Airlines 料金:152480 円 ∴合計:468880 円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: )
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:Jal, United Airlines)
<input type="checkbox"/> その他( )

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:The Quad)      アパート      ホームステイ

2)部屋の形態

個室      相部屋(同居人数 2 人)

3)共有部分

バス      トイレ      キッチン(自炊可      自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学からのパンフレット。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

The Quad は他の寮と比べて格段に綺麗なため何も問題はなかった。さらにインターナショナルの生徒は Quad を選択すると割引されるためその点においてもおすすめできる寮である。しかしながら、自分の体験を紹介すると自分はルームメイトに恵まれず 2 回部屋を変更した。1 人目はアメリカ現地の学生であり、彼は夜中の 2 時 3 時まで毎日ゲームをしており騒音がすごかった。2 人目はインドからの学生であり、作った料理を部屋の中で保存していたため部屋の匂いが鋭く、ここで生活することが困難だと考え部屋を移動した。三つ目の部屋は中国からの学生と部屋が同じであったが、彼は秋学期が終了し次第卒業したため、春学期は 1 人で部屋を使用することができた。もしお金を払うことを厭わないのであれば、少し多めにお金を払い 1 人部屋に申し込むとストレスなく留学生活を送れると思う。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし  
あり(治療を受けた場所: )

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし  
あり(問題の内容や相談した人等: )

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

地元の友人や大学から収集。トルネードが発生した時には携帯電話を通して通知が来た。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

たまに繋がらないことがあったが、基本的に問題なく大学の Wifi を使用していた。外出する際にはマストで必要だと思う。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを使用。親に日本の自分の銀行口座に 入金してもらっていた。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

お金はかかるが、基本何でも手に入ると思う。ただインスタントの味噌汁やお茶漬の元、好きなお菓子などを持っていくと良いかもしれない。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Introduction to the CJ System		イントロダクションクリミナルジャスティス
科目設置学部・研究科	Criminal Justice	
履修期間	8月～12月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に75分が2回	
担当教授	Prof. Shukla	
授業内容	アメリカの刑事裁判システムについて、基本から学んでいく。	
試験・課題など	毎週授業で扱う範囲の中から質問を3問考えるという課題が出た。テストは4回。ミニテストが10回あった。	
感想を自由記入	専門の英単語がどんどん出てくる+生徒に発言させる機会が多かったので大変であった。特に1学期目でまだ英語にそこまで慣れていない状況の中受けたのでなかなか難しかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Fundamental of Speech		ファンダメンタルスピーチ
科目設置学部・研究科	Mass Communication	
履修期間	8月～12月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に75分が2回	
担当教授	Dr. Dutty	
授業内容	自分の意見を相手に効果的に伝えられるように、スピーチのハウツーを学んでいく。	
試験・課題など	スピーチを合計6回実施。テストは中間、期末の2回であった。	
感想を自由記入	留学生が自分1人しかいない中スピーチするのは非常に不安であったが、それと同時に英語を話すことに対して勇気を与えるような授業であった。個人的に英語でスピーチをする機会はこれから先あると思うので、なかなか満足度の高い授業であった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to Mass Communication		イントロダクションマスコミュニケーション	
科目設置学部・研究科	Mass Communication		
履修期間	8月～12月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Prof. Milos		
授業内容	メディアがどのように今の形まで進化してきたのかを学んでいく。		
試験・課題など	ミニエッセイが4回、テストは合計4回。プレゼン1回		
感想を自由記入	ITの強いアメリカという印象が強かった。日本で学んだ情報の授業よりもはるかに細かく学んでいった。実際受講してみると少し自分の興味とずれてた授業であったが、アメリカ視点からのメディアを学べたことは非常に興味深かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Healthy Life Skills		ヘルシーライフスキル	
科目設置学部・研究科	Health Department		
履修期間	1月～5月		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が2回		
担当教授	Prof. Shonna		
授業内容	人間が幸せで健康的に暮らしていくために必要なことを学んでいく。		
試験・課題など	試験5回、ミニテスト10回、課題3個、レポート1つ。		
感想を自由記入	日本でいう保健の授業のような内容であるが、日本とアメリカではかなり内容が違うためアメリカ生活のハウツーのような授業であった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Walking Fitness		ウォーキングフィットネス	
科目設置学部・研究科	Physical Education		
履修期間	1月～5月		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が2回		
担当教授	Dr. Landon		
授業内容	クラスメイトとウォーキングやストレッチを通して心身の健康を向上していく。		
試験・課題など	特になし。		
感想を自由記入	せっかくの機会なので、知り合いをもっと作ろうということでこの授業を受講した。実際にクラスメイトと話をしながらストレッチ、ウォーキングをして様々な話をする事ができた。個人的に満足度の高い授業。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Fashion Marketing		ファッションマーケティング	
科目設置学部・研究科	Environment Science		
履修期間	1月～5月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Dr. Miller		
授業内容	その授業名の通りファッションとマーケティングを絡めてファッションの歴史からアパレルの販売・流通など幅広く学んでいく。		
試験・課題など	試験4回、プレゼン2回。		
感想を自由記入	個人的に「ファッション」というテーマは興味があったので受講した。ただ単にファッションを学ぶのではなく、ビジネスの面からも学べたことが非常に興味深く、ファッションという業界だけでこれだけの職種があるのかという新たな発見もあった。教授は非常に親切で優しくだったが、今年を持って教授を辞められてしまう。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Theories of Leadership	セオリーオブリーダーシップ
科目設置学部・研究科	Leadership
履修期間	1月～5月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Dr. Brenton
授業内容	リーダーシップとはどのように獲得できるかについて様々な理論を通して学んでいく。
試験・課題など	試験2回。ミニエッセイ10回。グループプロジェクト1回。
感想を自由記入	非常に興味深い授業であり、自分の受けた中で最も面白かった。リーダーシップについて学ぶ機会など今までになく、新しいことだらけであった。リーダーシップは理論付けされており、意外にも体系されている内容であった。ディスカッションはついていくのが大変であったが、非常に内容の濃い時間であった。

### 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:就活を行う。
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、  
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	TOEFLの勉強を開始。
	4月～7月	
	8月～9月	出願
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ申請、航空券購入。予防接種。寮を申し込み。
	8月～9月	出国、留学開始
	10月～12月	中間、期末
留学/帰国年	1月～3月	中間
	4月～7月	5月期末試験。6月帰国。就活開始。
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

この留学先を選択した理由は自分の第一志望の大学に落ちてしまったためです。

留学生活に関しては、最初の数ヶ月はなかなか多くの面で辛いことが多かったです。特に言語は大きな壁がありました。他人と話す時、お店に行った時、もちろん授業を受けている時、どの場面でも英語を使用しなくてはいけないので中々に辛かったです。ただ、その解決策は誰もが言っていると思いますが、英語に触れるしかないので、どんどん社会的に行動していったほうが良いと思います。その甲斐あって、授業内容もだんだん理解できるようになり、友人も増えていき、留学生活が明るい方向に進んでいきました。大学の雰囲気は非常に良かったと思います。その一方で、日本で英語をもっと勉強しておけば良かったと感じることも多々ありました。英語を勉強するなら、座学というよりも映画、海外ドラマ、海外の YouTuber の動画を見るなどとにかく人が話している英語を聞く、理解するということが大切です。またこの勉強法のいいところは、見た映画に関して現地で出会った学生と話すことができることです。自分のイメージ以上に現地の学生は映画、ドラマ、アニメ、音楽が好きなのでその知識があると気が合う人と会えるかもしれません。大学の雰囲気は、アメリカということもあり自分以外にもたくさんの留学生在いたので、現地の生徒も慣れているのか、親切な人が多かった印象です。また留学生向けにたくさんのイベントがあるので参加すれば知り合いも増えていくと思います。

UCO はカリフォルニアのようなキラキラ感はありませんが、人が穏やかで優しいので素敵な場所です。たくさんの期待と不安があると思いますが、不安に関しては大丈夫です。時間が解決してくれると思います。英語に関しては、第一言語ではないので、できなくて当たり前です。焦らなくていいので、とにかく社会的にいきましょう。部屋に籠らないでとにかく行動することで英語も向上し、友達も作れると思います。授業に関しても同じです。母国語ではないので、とにかく授業に出て分からないところはクラスメートや教授に質問し、課題やテストをきちんとやれば大丈夫です。とにかくせっかくの機会なので楽しむことを優先で頑張してほしいなと思います。